

せい ろう まち

聖籠町

せ 議会だより

新潟県聖籠町議会

VOL.145

12月議会

令和6年

1月26日発行

一文字一文字 気持ちを込めて
(聖籠はじめてこども園での書き初め)

今年のテーマを漢字1字で! (P.3)

F-factoryの声 (P.7)

町から回答が届きました (P.8)

一般質問 町政を問う (P.11)

今年のテーマを 漢字1字で表しました!



新春を迎えて

議会議長

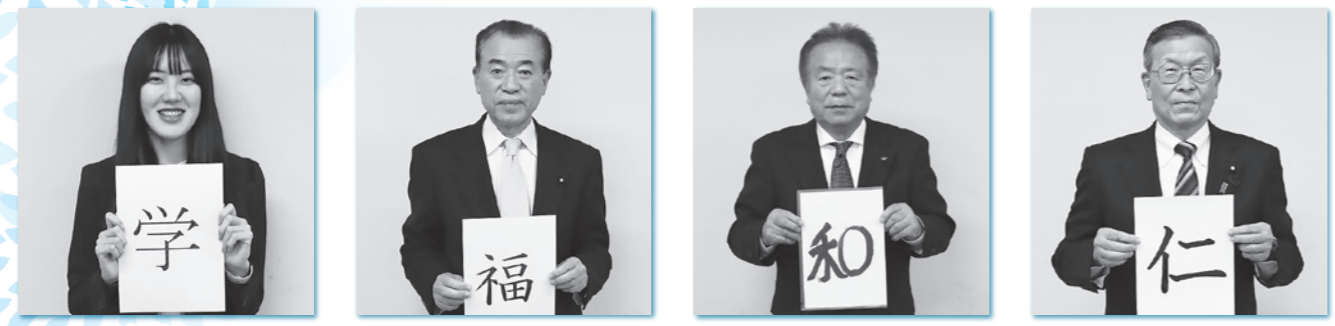
みやざわ みつこ
宮沢 光子

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
今年も辰年です。辰年は縁起の良い干支とされていて運気が上昇する年
と言われています。

ここ数年にわたり新型コロナウイルス感染症の流行や他国での戦禍等の
要因で、私たちの生活はさまざまな形で脅かされてきたと感じていますが、
こういう時こそ大量に流れてくる情報に惑わされず冷静に物事を考えなけ
ればと思います。さて、町の新潟東港工業地帯の活性化に寄与する明るい
ニュースがこのところ多くあります。今年の秋に稼働予定のバイオマス発
電所の建設は日に日に進んでいます。

昨年11月には、東新潟火力発電所の1・2号機の更新計画が東北電力か
ら公表されました。2027年度に工事開始とのことですが、町内外の経
済活動により良い影響がでることを期待したいと思います。

そして、12月には、「オン・ドック・レール構想」と呼ばれる新潟東港へ
の鉄道乗り入れを事業化することに向けて県は国に働きかけることが報道
されました。以前にも県は事業化の方針を出しています。地元としては期
待感が高まります。結びに、日々のニュースの内容に時代の変化を感じる
昨今ですが、新しい年を迎え町民の皆さまにとりまして、健やかで幸多き
一年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。



かわかみ
川上議員

はせがわ
長谷川(進)議員

くりはら
栗原議員

さいとう
斎藤議員



たかさき
高崎議員

いとう
伊藤議員

みやざわ
宮沢(さ)議員



はせがわ
長谷川(六)議員

あおき
青木議員

たなか
田中議員

なかむら
中村議員



すがい
須貝議員

てしま
手嶋副議長

みやざわ みつ
宮沢(光)議長



12月議会 定例会

12月議会では12日～18日までの7日間の会期で開催しました。聖籠町特別職・職員・会計任用職員等・給与の条例、観音の湯ざぶ～ん館の条例の一部をそれぞれ改正しました。また、人事案件では固定資産評価委員会委員を同意し、人権擁護委員を選任しました。9月議会で否決された監査委員の同意案件が再度提出され審議し原案のとおり可決しました。一般質問では9人の議員が質問をしました。

町職員の給与

町職員の給与の 条例の一部を改正

一般職の職員に係る給料表の改定勤労手当の支給割合の引き上げとともに、地方自治の改正に伴う改正。
中村恵美子議員 この条例は令和5年4月1日から適用となっているので期末手当・給料もさかのぼって支給されるのか。
総務課長 給与・ボーナスについても4月にさかのぼって支給される。
中村恵美子議員 会計年度任用職員の期末手当は増額にはならないのか。
総務課長 今回は職員の給与改定で、6月期・12月期の勤労手当のみの改正なので、期末手当は改正していない。

ざぶ～ん館

観音の湯ざぶ～ん館の 条例の一部を改正

昨今の電気、ガス料金の高騰に伴い、ざぶ～ん館の運営経費が増大しており、聖籠の杜の経営努力だけでは収支の改善が難しいので、段階的に利用料を値上げしたい。
田中智之議員 頂いた資料を見ると来館者14万2500人。令和7年度には13万6500人を見込んでいる、町民の利用者は2割の3万人を見込んで入館料300万円増になるが、なぜ900万円増えるのか。
保健福祉課長 町民と町外者の料金を合わせ入湯税も含んだ。
令和5年で単価400円を見た、値上げ分の100円全ては見込めず、町内外者合わせて単価485円を見込んだ。

人事案件

監査委員の同意

9月議会で否決された案件が再度提案された。



源泉の湯量が豊富になったざぶ～んざびご利用を

田中智之議員 この件で町民のさまざまな声があったが、町長はこの事業を継続しなければならぬ理由を聞きたい。
町長 町民の健康増進が、経営安定化の判断は非常に難しい課題だ。利用する皆さんにある程度の負担をお願いしていきたい。
長谷川六男議員 中村氏は議会に詳しい人であるが、特定政党に属しているかどうか。他に議員として適任者がいるのではないか。
町長 公平公正の監査に支障がきたすとは考えていないし、法的なことで問題はない。この度は、中村氏を適任と思い再度提案した。

主な質疑

Q なぜ農業だけ手厚く支援するのか

田中智之議員 農業者以外からすると、なぜ農業だけ手厚く支援するのかこの素朴な疑問に答えてほしい。

A 緊急一時的な支援

町長 夏の酷暑によって農産物が著しい被害を受けたことで、お見舞いという気持ちも含めて支援する。

Q 被害の実態調査をすべき

青木順議員 実態調査をしてほしいと何回か言ったが、実施したのか。

A 一定額の支援である

町長 今回の対応は緊急一時的でお見舞いの気持ちも含め、一定額の支援である。
税務課長 実態調査は行ってない。

補正 予算

酷暑被害対策支援金 物価高騰対応生活支援 給付金扶助費の支給

申請は簡素でスピーディーに!



今夏の酷暑により農作物に被害を受けた農家の方々に10アール当たり5千円や、住民税非課税世帯に対する一世帯あたり7万円を給付することになりました。

・10アールあたり5千円
・非課税世帯7万円

項目	補正額	主な内容	総額	
一般会計	2億 6940万円	歳入	90億 5276万円	
		ふるさと応援寄付金		2000万円
		財政調整基金繰入金		7600万円
		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		6349万円
		灯油購入費助成事業補助金		200万円
		酷暑被害対策支援金		7601万円
		物価高騰緊急支援高齢者独自給付金		640万円
		物価高騰対応生活支援給付金扶助費		5600万円
		子育て世帯独自給付金扶助費		1350万円
		歳出		

みなさんの「声」

請願2件を調査

全員賛成で採択

◎若者も安心できるよう物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める請願

「提出者」全日本年金者組合新潟県本部 委員長 稲葉 正美
全日本年金者組合聖籠支部 支部長 石井 吉春

「紹介議員」青木 順・伊藤 千穂

「要望事項」若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額の改善を行うこと。

↓採択を受け、国に意見書を提出。

賛成多数で採択

◎健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付することを求める請願書

「提出者」新発田民主商工会 中村 登

「紹介議員」青木 順・伊藤 千穂

「請願の主旨」

他人の医療情報が誤ってひも付けされた事例も相次いでおり、医療や健康など機微なプライバシーが企業の儲けに利用される問題もあることから、国の関係機関に意見書の提出をお願いしたい。

「要望事項」

●健康保険証の廃止をしないよう求める意見書を政府に送付していただくこと。
↓採択を受け、国に意見書を提出。

議会の豆知識

○*請願書とは？
法に基づき、公の機関に要望を述べる意見書のこと。

○*意見書とは？
地方公共団体の公益にかかわる事柄に関して議会の意思を意見としてまとめたもの。



監査委員の選任について

聖籠町監査委員に中村恵美子氏を選任することに、討論が行われました。

討論(要旨)

賛成 栗原博久議員

監査委員は行政に精通するものでなければならぬと思う。町長の選任した議員は25年の議員経験があり、町長が委員にふさわしい人物というのであれば私は賛成する。

起立採決により出席議員11人中、賛成7票、反対4票により同意されました。

中村恵美子 議員 (外畑 監査委員)



固定資産評価審査委員会委員

本間 敬さん(再任)



令和5年12月31日を持って任期満了となる同委員の本間敬さん(汐美台)が引き続き選任されました。

第4回 11月 臨時議会

町民会館の冷温水発生機更新工事に伴う工事請負契約の締結において、全員賛成で可決しました。

主な質疑

町民会館の冷温水設備の工事に質疑がありました。

Q 入れ替えではないか

田中智之議員 今回の工事は更新工事だが、入れ

A 総枠では更新工事

総合政策課長 今回の工事は本体の冷温水発生機のみではなく、配管工事も伴い今あるものを使つていく部分もあるため総枠では更新という形になる。



入れ替えまでは修理で対応

人権擁護委員

佐久間孝一さん(再任)



人権擁護委員の佐久間孝一さん(蓮湯)が令和6年3月31日で任期満了になることから、引き続き推薦されました。全員賛成で適任と認めました。

人権擁護委員

佐久間千都さん(再任)



人権擁護委員の佐久間千都さん(蓮湯)が令和6年3月31日で任期満了になることから、引き続き推薦されました。全員賛成で適任と認めました。

人権擁護委員

堀 めぐみさん(新任)



欠員が生じていた人権擁護委員に堀めぐみさん(本大夫)が推薦されました。全員賛成で適任と認めました。



F-factory の声

【Fのコンセプト】「藤寄で面白いことをしたい」と考えて動き出した団体です。藤寄の皆が楽しめる企画を考えて実行していきます。

質問項目

- Q1 今後、F-factoryとして活動したいことは？
- Q2 町に期待することは？



えんどう だいすけ 遠藤 大輔さん (藤寄)

- 1 子どもからお年寄りまで皆が集まり笑顔になれるイベントを行ってきたい。
- 2 福祉の充実により暮らすことへの不安を減らし、この町で、この地域でよかったと思ってもらえる町づくりをしてもらいたい。



えんどう じゅんいち 遠藤 純一さん (藤寄)

- 1 集落のお祭りをもう一度盛り上げていき藤寄集落の皆が集まれる場を作る。
- 2 地域資源をより有効活用できるような行政と農家などといった町で頑張っている人をつないで町外にももっと発信して盛り上げてもらいたい。



えぐち ひろゆき 江口 浩行さん (藤寄)

- 1 今まで藤寄集落でやってきたイベントを自分たちの子や孫に残せるようにしていきたい。
- 2 子どもたちが参加できるようなイベントや、子どもが遊べる施設の設置。町民へ発信できるようなイベントや事業の開催。

令和4年度決算特別委員会における 意見書に対する町からの回答

前号の議会だより(144号)に掲載した、令和4年度決算についての委員会からの意見書に対し、11月27日付で町から回答があったので、その一部をお知らせします

ふれあい農園



春耕が待ち遠しいふれあい農園

ふれあい農園の耕作者は、近隣市民が多く、また未利用地も多い。利用者の減少が続くなら、将来的には売却の検討を望む。
回答 利用率は約69%であり、一定の利用は図られている。また、利用者のうち約76%が町外の人である。町外者と町民との交流の場でもあり、売却は考えていない。

資源ゴミ

町で回収しているアルミ缶等の資源ゴミは、売却価格が高騰している。回収した資源ごみ収入は貴重な収入だ。周知を図り回収増に努められたい。
回答 売却収入は貴重な財源であり、今後とも周知をし、回収増を図る。

国県等補助金

国県等補助金については、常に情報を注視しながら事業財源への充実に努めている。今後も庁内部署での情報活用を努めていく。
回答 国県等補助金については、常に情報を注視しながら事業財源への充実に努めている。今後も庁内部署での情報活用を努めていく。

ふるさと応援寄付金

ふるさと応援寄付金返礼品には、町特産品のコメや果樹にも力を入れてもらいたい。また、パックご飯が75%を占めてるが今後、県内産を使用することを望む。
回答 国県等補助金については、常に情報を注視しながら事業財源への充実に努めている。今後も庁内部署での情報活用を努めていく。

松くい虫防除



町の緑が消えていく

松くい虫伐倒駆除処理には、上限10万円までの補助金が出る。周知に努め、散見する被害を止めたい。
回答 町有地等の防除だけでは駆除は難しい。民有地の防除も必須だ。今後も広報等で周知を図り被害の防止に努める。

歩道等の植栽や樹木



通学路や歩道等の植栽や樹木などは、必要性を考慮し伐採なども検討し歩行者の安全確保を優先すべきだ。
回答 歩道等に植栽の樹木は、歩道および車道の安全確保のため、計画的に伐採等を実施する。

国民健康保険

人間ドック受診者が増えた。病気の早期発見のためにも、周知を図り、受診率向上を図れ。
回答 毎年1月に国保加入者で助成対象世帯には案内状等を送付している。また、新規加入時にも窓口で紹介し、今後受診の重要性を周知する。

下水道接続向上

下水道の接続については、新規や切り替えについても普及率向上に努めているが、今後も接続率向上に努め、河川の環境に貢献されたい。
回答 衛生的で美しい街を保つ、海や川をきれいにする、快適な暮らしを提供する等の下水道の役割について広報等により啓発を行い、接続率向上に努めていく。

介護保険

居宅介護は家族の負担が大きい。負担軽減のため、介護福祉用具購入費や介護住宅改修費の増額を検討されたい。
回答 介護保険制度での福祉用具は、貸与を基本としている。貸与になじまない用具は購入費を給付の対象にしている。福祉用具購入費は10万円、住宅改修は20万円を上限給付している。



介護保険の有効利用を

高齢者ゴミ出し支援

高齢者ゴミ出し支援事業実施件数からすると、まだ希望者があるのではないかと。周知を図られたい。
回答 高齢化社会の進展に伴い、支援が必要な方の増加が見込まれる。ご近所の支援なども大切にしつつ必要な支援が届くよう制度周知に取り組んでいく。

買い物難民支援

買い物難民を救う手段として、高齢者タクシー利用扶助費の増額を検討されたい。
回答 この事業は、高齢者福祉の増進を目的としており、今後も制度の持続可能性などを考慮し、制度見直しを検討する。



空き家バンクに登録を

空き家対策

空き家解消策として、納税通知書等を送付し、町で実施している除却補助金等の情報提供を行い空き家減少に努められたい。
回答 例年、所有者に空き家相談会の開催案内を通知し、町の除却助成金や空き家バンク等の情報提供を行い、減少に努めている。

一般質問 町政を問う



12月定例会では9人の議員が、町長および教育長に町の行政について質問をしました。

長谷川 六男議員 P11

- 1 町長の減給責任 処遇の考えは
- 2 町立保育園はなぜ 必要なのか

伊藤 千穂議員 P12

- 1 食物アレルギー 情報共有が必須

長谷川 進一議員 P12

- 1 情報格差解消支援 を図れ

斎藤 豊議員 P13

- 1 児童・生徒の学力の 向上対策は
- 2 公共交通の見直し 検討について

宮沢 さやか議員 P14

- 1 ヘルメット 着用率の向上を
- 2 健康課題の 相互理解を
- 3 パートナリシップ制度の 導入を

手嶋 満議員 P14

- 1 町の基金運用 状況について

栗原 博久議員 P15

- 1 交付金を適正に使ったか
- 2 税の無駄使いを していないか
- 3 遊休施設の利用は 考えているか

青木 順議員 P15

- 1 ざぶざぶの 方向性を決断せよ

負担金 町長の減給責任の考えは 信用失墜等を総合的判断する



はせがわ りくお 長谷川六男議員の視点

問 認定こども園へ約1億円の負担金算定誤りがあった。町民の一部からは「町の予算規模からして、町長は平然としていられるのか」と強い口調の声が上がっている。9月議会での説明は遅過ぎたのではないかと。町長 ルール上決められている数値と違う数値の inputs が7月に発覚した。

問 町の重大なミスを広報等で知らせないのか。

町長 内部検討をする。

問 2法人が納得いくような謝罪はしたのか。

町長 法人に対し、説明をし謝罪してご理解を願った。

問 返済期限はいつか。

町長 年度中の約束だ。

問 金額の大きさからし



子ども教育課 14 誰にも起こりうる操作ミス

問 町長の減給の考えは。町長 その事案ごとに総合的、冷静に判断する。

町立保育園はなぜ必要なのか

問 建設費縮小の考えは。町長 経費は抑制したい。

問 子どもが生まれてくる数を見据えているのか。町長 推計からは、子ども数は極端に落ちない。

問 建設を急ぐ必要があるのか。

町長 現実的に待機児童が出るのが予測される。

問 地域住民に、事前説明がなかったのはなぜか。町長 先に議会の意見を聞くことが大切と考えた。

議員表決結果報告

令和5年11月臨時会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	川上りな	長谷川進一	栗原博久	斎藤豊	高崎美由貴	伊藤千穂	宮沢さやか	長谷川六男	青木順	田中智之	中村恵美子	須貝龍夫	手嶋満	宮沢光子	採決結果
町長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

令和5年12月定例会

議員個々の賛否：賛成=○ 反対=× 欠席=欠 ※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	川上りな	長谷川進一	栗原博久	斎藤豊	高崎美由貴	伊藤千穂	宮沢さやか	長谷川六男	青木順	田中智之	中村恵美子	須貝龍夫	手嶋満	宮沢光子	採決結果
町長	欠	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	可決
聖籠町特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
聖籠町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
聖籠町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
聖籠町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
聖籠町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
聖籠町手数料条例の一部を改正する条例について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
聖籠町観音の湯ざぶざぶ館条例の一部を改正する条例について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
監査委員の選任につき同意を求めるについて	欠	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	-	×	○	同意
聖籠町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	適任
人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	適任
人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	適任
新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村事務組合規約の変更について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
財産の処分について〔普通財産（運湯地内）売払い〕	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和5年度聖籠町一般会計補正予算（第6号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和5年度聖籠町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和5年度聖籠町介護保険特別会計補正予算（第3号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和5年度聖籠町下水道事業会計補正予算（第2号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和5年度聖籠町水道事業会計補正予算（第3号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
令和5年度聖籠町一般会計補正予算（第7号）	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
請願・陳情	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
若者も安心できるよう物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
健康保険証の廃止をしないよう求める意見を政府に送付することを求める請願書	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	採択
聖籠町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
若者も安心できるよう物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
健康保険証の廃止をしないよう求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

給食

食物アレルギー 情報共有が必須

教育長 校園長会を通して徹底



伊藤千穂議員の視点

問 子どもたちの食物アレルギーの有無をどのように把握しているか。

教育長 幼稚園や学校で、保健調査票や保護者の面談などで把握している。申し出のあった生徒・児童には医療機関を受診していただき、医師が記入した学校生活管理指導票を提出してもらい医師の指示の下で対応している。

問 調理済の給食を共同調理場から幼稚園や各校へ搬出する際、対応給食の情報伝達はできているか。

教育長 調理済の対応食を専用の容器に入れ名札を付け、複数の調理員でチェック表を用いて確認している。園や学校で見

て分かるよう、在籍するクラスのコンテナと一緒に入れて配送をしている。**問** 各学校・園で誤食後の対応はどのようにしているか。

教育長 毎年度の当初に職員会議でアレルギー対応の確認を行い、町の給食アレルギー対応マニュアルに基づき対応できるように研修を行っている。*エピペン保持者が発作等を発症した場合に、ためらいなくエピペンを打てるよう、今後は実技研修を年3回実施することとした。



専用コンテナで安全に配送 *エピペン…アナフィラキシーの症状が出た時に使用し症状を抑える自己注射薬

格差

情報格差解消支援を図れ

町長 情報格差解消に配慮する



長谷川進一議員の視点

問 急速に浸透しつつあるデジタル情報化の進展で、パソコンやスマホの普及率が高くなっている。これらの機器を活用できる人と、できない人との情報格差が広がっている。町でもホームページなどを活用し情報等を発信しているが、スマホなどを持っていても活用できない人も多い。見る人が増えなければ効果も半減する。機器を利用できない人は自己責任ではないと思うが、町長はこれらの格差解消を図る支援策を考えているのか。

町長 国民健康保険税で、滞納があっても資格証を発行していない自治体は、県内で7市町村ある。国保税の払えない世帯に対して、資格証の発行はやめるべきでないか。**町長** 国保資格証交付等取扱要綱に基づいて交付を行っている。資格証交付対象の納税相談に応じている。



デジタル社会に対応するために

町長 社会全体でデジタル化が進む中、スマホなどを使える人と使えない人の情報格差には配慮していく。講座等開設にはさらに検討が必要。**教育長** スマホ等の活用が不得手での情報格差解消のため、昨年度はシニアを対象に公民館講座を開設した。本年度も3月に講座を開設予定である。今後も継続するかは、参加者の意見等を聞きながら検討する。

児童・生徒の学力の向上対策は

教育長 検討していく意義は十分にある

学力



斎藤豊議員の視点

公共交通の見直し検討が必要では

問 近隣自治体の公共交通の見直し等が新聞報道

を進めていきたい。**教育長** 課内で検討して

問 児童・生徒の学力の向上は、過去から現在まで綿々と続く最重要課題の一つである。学古堂の対象として、放課後子ども教室の小学生・中学生からと中学校1・2年生とすべきではないか。

教育長 また、英語に対する教育目標を達成する一助として英語検定試験を推進しているが、現状は受験料の半額補助で年1回である。これを全額補助とし、年3回までとすべきではないか。



学古堂で学習する中学生 *学古堂・教育未来課が主管で行っている、個別指導を通して中学生の学習習慣と基礎学力の定着を目指す講座

町長 基本形は今の形で良いと思っているが、補完するものが必要になってくる。どういう形の補完形態が良いのか、内部検討をしたい。あわせて買物難民については、公共交通の施策として考えるのか、また別な方法での対応を考えるのか検討していく。

格差

資格証の発行はやめよ

町長 取扱要綱に基づき行う

国保証

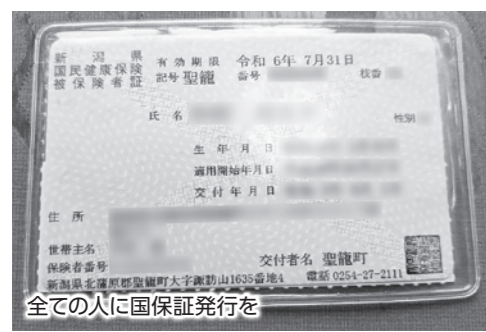


中村恵美子議員の視点

带状疱疹ワクチンの助成を

問 带状疱疹は、痛みを伴う赤い発疹が出る。50歳以上で発症率は上がり、80歳までに3人に1人がかかるといわれている。本町でも带状疱疹ワクチン接種の助成を行うべきではないか。

町長 国民健康保険税で、滞納があっても資格証を発行していない自治体は、県内で7市町村ある。国保税の払えない世帯に対して、資格証の発行はやめるべきでないか。**町長** 国保資格証交付等取扱要綱に基づいて交付を行っている。資格証交付対象の納税相談に応じている。



全てのの人に国保証発行を

町長 ワクチン接種の助成は、県内2市1町で行っている。町内の要望状況や他の自治体の動向を注視し、助成の必要性について検討したい。**パートナーシップ制度の導入を****問** 戸籍上同性のカップルに対して、地方自治体が婚姻と同等の関係を承認するパートナーシップ制度を導入するべきと考えるがどうか。**町長** 内部で前向きに検討を考えている。

安全

ヘルメット着用率の向上を

町長 町全体での機運の醸成が必要



みやざわ 宮沢さやか議員の視点

問 自転車事故の実態は。町長 今年に入って4件。自転車利用時のヘルメット着用の必要性、着用促進のため、助成の対象者を拡大してはどうか。町長 啓蒙・啓発に力点を置き対応したい。

問 新潟県のヘルメット着用率は全国最下位だ。県全体での着用率を上げるため、県への働きかけとしてはどうか。町長 課題提供という形で要望も含め検討したい。

健康課題の相互理解を

問 女性の多くは月経トラブルやPMS、更年期障害等、女性特有の健康問題を抱えている。働きやすい職場環境、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう環境を整備していくことは必要不可欠だ。本町での支援体制は。町長 休暇制度を整備しているが、少子化や多様性を踏まえた職場環境には、男女別年齢別を問わず職員への意識改革も大切。衛生委員会の活動を通じて進めていきたい。

教育長 健康問題への支援体制の構築は、児童生徒、働く者の心の安心につながる大切なこと。学校・園と連携しながら今後も取り組んでいきたい。



上げよう ヘルメットの着用率

※PMS…月経前、3～10日の間続く精神的あるいは身体的症状で、月経開始とともに軽快ないし消失するものをいう（日本産婦人科学会）

財政

町の基金運用状況は

町長 安全性を担保し債券運用を行いたい



てしま みつる 手嶋満議員の視点

問 17ある基金で、令和3年度から運用方針の変更が行われたのはなぜか。また、なぜこのタイミングだったのか。町長 超低金利の中、預金と債券の金利差が著しかったため、令和3年4月から社債による運用を開始した。

問 6基金をおのの運用ではなく一括運用し、債券の購入に充当しているのはどういう理由か。町長 債券を購入する場合、おのの基金では基金額が少額で購入できない。

問 現在は保健福祉施設だが、観光施設なのか収益を求める商業施設なのか、今後の方向性は。町長 大事なものはざぶざぶを継続することだ。維持する最も良い形を求めていく。

問 町民の利用率は2割を切る。利用しない町民にアンケートなどを取るべきだが、どう考えるか。町長 入館者を対象に平成27年から行っている。新規開拓も必要となるため、アンケートについては聖籠の杜と協議したい。



安全に基金の運用を

6つの基金を一括で運用することで債券購入が可能となる。

問 令和4年度末で合計4億円の債券は同一銘柄である。どういう理由か。町長 債券の安全性、企業の町への貢献、町民の雇用、その企業との信頼性等を基本に購入した。

問 今後も基金運用で継続的に債券運用を行っていくのか。町長 法令に基づく安全性を担保し、町の財源確保として、一定のルールに基づき債券運用を行っていきたい。

交付金

交付金を適正に使ったか

町長 子育てや物価高騰に支援した



くりはら ひろひさ 栗原博久議員の視点

問 コロナ感染関連の国からの臨時交付金を適正に町民のために使ったか。町長 令和4年度で町は、総事業費1億3052万円余りのうち、臨時交付金を除く町の持ち出しは6218万円余りで、子育てや物価高騰への支援を行った。

税の無駄遣いをしていないか

問 町の老人福祉のショートステイでは、町内利用需要を上回る開設認可で税の無駄遣いとなっていないか。町長 認可数決定は県が行っており、ベット数が多いことで町の負担が多くなっているとは限らない。



いつまでそのまま 町の財産

遊休施設の利用は考えているか

問 町有財産で遊休施設がいくつかあるが、この施設の有効利用はどうか考えているか。町長 使用していない旧連野ごども園や旧亀代ごども園で、総合的に勘案して取り扱いを決めたい。

決断

ざぶ～んの方向性決断せよ

町長 町財政への負担軽減が目標だ



あおき じゅん 青木順議員の視点

問 今後の運営において、さらなる投資が徹底的な経費削減で町民の負担を減らすのか、将来を見据えた町長の考えは。

問 現在の保健福祉施設だが、観光施設なのか収益を求める商業施設なのか、今後の方向性は。町長 大事なものはざぶざぶを継続することだ。維持する最も良い形を求めていく。

問 町民の利用率は2割を切る。利用しない町民にアンケートなどを取るべきだが、どう考えるか。町長 入館者を対象に平成27年から行っている。新規開拓も必要となるため、アンケートについては聖籠の杜と協議したい。



明確な目標設定で よりよい施設運営を

町長 今が頑張りどころだ。具体的な案があれば議論は深まると考える。

問 秋田県大潟村に早朝6時から温泉に入れる施設があり、大勢が入浴していると聞いた。どう考えるか。町長 朝6時から営業すると従業員や設備の調整が必要であり、収支面ではさらに厳しい状況と予想される。令和7年度に黒字化できるよう、目標達成に向け努力したい。

令和5年度 各委員会で行って来ました



総務文教常任委員会

視察先：山形県金山町
期 日：11月20日
視察事項：投票率向上にむけ調査



11月20日、山形県内でも高い投票率を維持している金山町を訪問し、投票率向上のための取り組みについて視察を行いました。
子どもを連れて投票に行くなど、昔から選挙を身近なものとして受け継がれ、投票に行くことが習慣化されていました。高校生には主権者教育の推

進から、参政権を持つことの意味を考える契機として、模擬議会が開催されていました。当町の課題でもある若年層の投票率向上につなげるためにも、主権者意識を浸透させる教育が重要と感じました。
(文責 伊藤千穂)

議会運営委員会

視察先：新潟県燕市
期 日：11月10日
視察事項：タブレット導入への第一歩



私たちに課せられた課題の1つである議会のデジタル化を進めるため、改選後初となる視察を行いました。視察では、実際にタブレット端末を使用することでペーパーレス会議の利便性、効率的で迅速な会議が可能であることが実感できました。
資料の保管スペースや紙コ

括送信等、タブレット導入によるメリットは多くあります。その一方、議員間でもICT関連の知識、活用力に差があり、議会全体での研修と議員間の情報共有が必要といえます。今後も議会運営委員会が主体となり、事務局の協力を得ながら導入を目指します。
(文責 宮沢さやか)

ストの削減、情報の共有・一

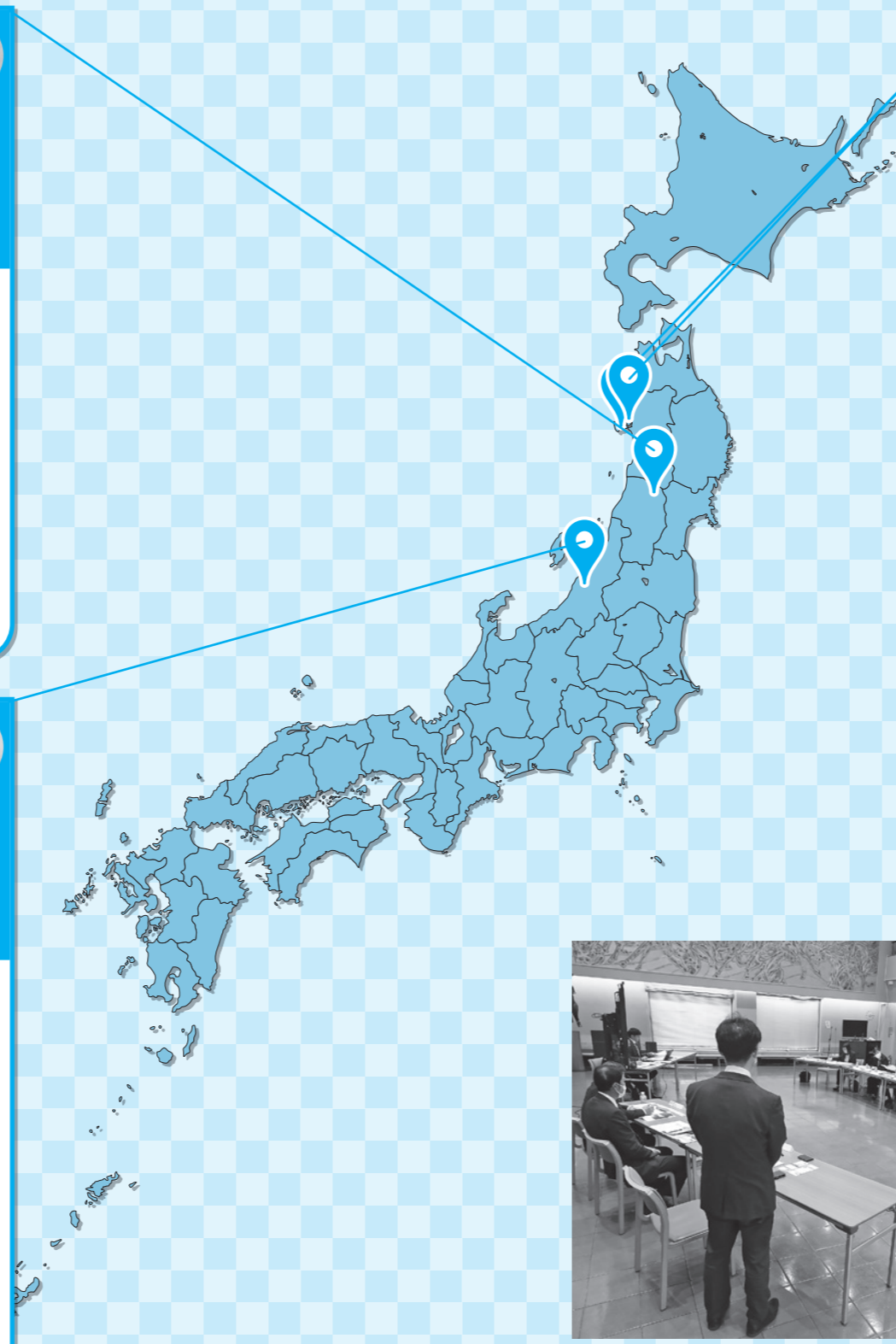
厚生産業常任委員会

視察先：秋田県大潟村、男鹿市
期 日：11月16日、17日
視察事項：農産物のブランド化、生産促進について



11月16日、17日に秋田県大潟村、男鹿市を訪問し視察研修を行いました。
大潟村は八郎潟を干拓して誕生した村です。湖底の栄養豊富な湿地を生かした米作り。近年では園芸作物、食品加工、輸出などにも力を入れ、農業者の所得安定のためにさまざまな取り組みがされていました。

男鹿市の道の駅おがは県内道の駅で売り上げ1位となっており、平日でも多くのお客様が訪れ、観光客だけでなく地元住民にとっても行きたくなる場所となっていました。消費者の立場に立った商品や店づくりは素晴らしいものでした。多くの可能性を感じられました。
(文責 高崎美由貴)



総務文教常任委員会視察（山形県金山町役場）



厚生産業常任委員会視察（秋田県大潟村役場）

ようこそ 聖籠へ!

～ Welcome to Seiro ～

「ようこそ聖籠へ!」では、他市町村出身で、
現在聖籠町にお住まいのご家族にインタビューをします。



さとう あきら
佐藤 晃 さん
(蓮漚新田)



スマイル ファミリー!!

今回は蓮漚新田集落の佐藤さんご家族です。

Q 家族構成を教えてください。

私と妻、長男3歳、長女1歳、マルプードル1匹。
4人と犬1匹の家族です。

Q 出身地と聖籠町在住年数は?

新発田市出身で、5年前から聖籠町に住み始めました。

Q 町の良いところ(好きなところ)を教えてください。

自然が豊かで、食べ物(魚・コメ・果物)がおいしい。
しつこい。

Q どんな町になってもらいたいですか?
交通の便が良くなっ
てほしいです。



Q どんな子どもに育ってほしいですか?

元気いっぱい、優しく明るい子に育ってほしいです。

Q ご家族の夢を教えてください。

いつまでも笑顔いっぱい、笑いの絶えない家族でいられるように過ごしたいです。

お知らせ

～ information ～

議会トップページは
こちらから



次回の定例会は、**3月6日(水)**開催予定です。

①FM 放送
エフエムしばた 76.9MHz

②インターネットサイマルラジオ
右の2次元コードから聴くことができます。

★表紙の写真★

「一文字一文字 気持ちを込めて」
(聖籠はじめてこども園での書き初め)

一生懸命、真剣に書いている姿が印象的でした。

(1月9日)

発行責任者

議長 宮沢 光子

広報広聴常任委員会

委員長 須貝 龍夫

副委員長 斎藤 豊

委員 手嶋 満

伊藤 千穂

長谷川 進一

川上 りな

広報広聴常任委員会
副委員長 斎藤 豊

編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、5月8日に季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられ、多くの方がマスクを外し、社会生活が「正常化」してきました。ようやく、あちらこちらで忘年会や新年会開催の話が聞かれるようになり、日常が戻りつつあることを実感できようになりました。

コロナ禍で各集落の区長さんにおかれましても、以前と異なる集落運営や総会の形式においてご苦労されたことと推察いたします。

また、気象変動の影響と思われる、短時間の大雪や酷暑による農作物への被害など、異常気象と言われてきたことが、日常となってきました。少子高齢社会への対応も「焦眉の急」となっております。

このように、多種多様な業務が行政に求められる状況にあります。

このようなか、行政と議会の関係を示す言葉に、「車の両輪」という表現があります。これは、行政と議会は、対等の立場で相互にチェックし合うとともに、足りないところを補い合う存在であり、二つそろってはじめてしっかり機能するものだ、ということを表しています。

今後とも、チェックや提言等をしつかり行なっていきたいと思っております。町民の皆さまがこの一年を平穩に過ごされますよう、ご祈念申し上げます。

発行 新潟県聖籠町議会
編集 広報広聴常任委員会
印刷 昭栄印刷株式会社

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

[聖籠町議会](#)

[検索](#)

聖籠町議会だよりは、環境にやさしい植物油インキを使用しています。